HITACHI

Reliable solutions

2020年3月期第1四半期 決算説明会

1. 地域別市場環境と見通しについて

執行役営業本部長　先崎　正文

2.　2020年3月期第1四半期 決算について

執行役専務兼CFO　桂山　哲夫

2019年7月25日

日立建機株式会社

HITACHI

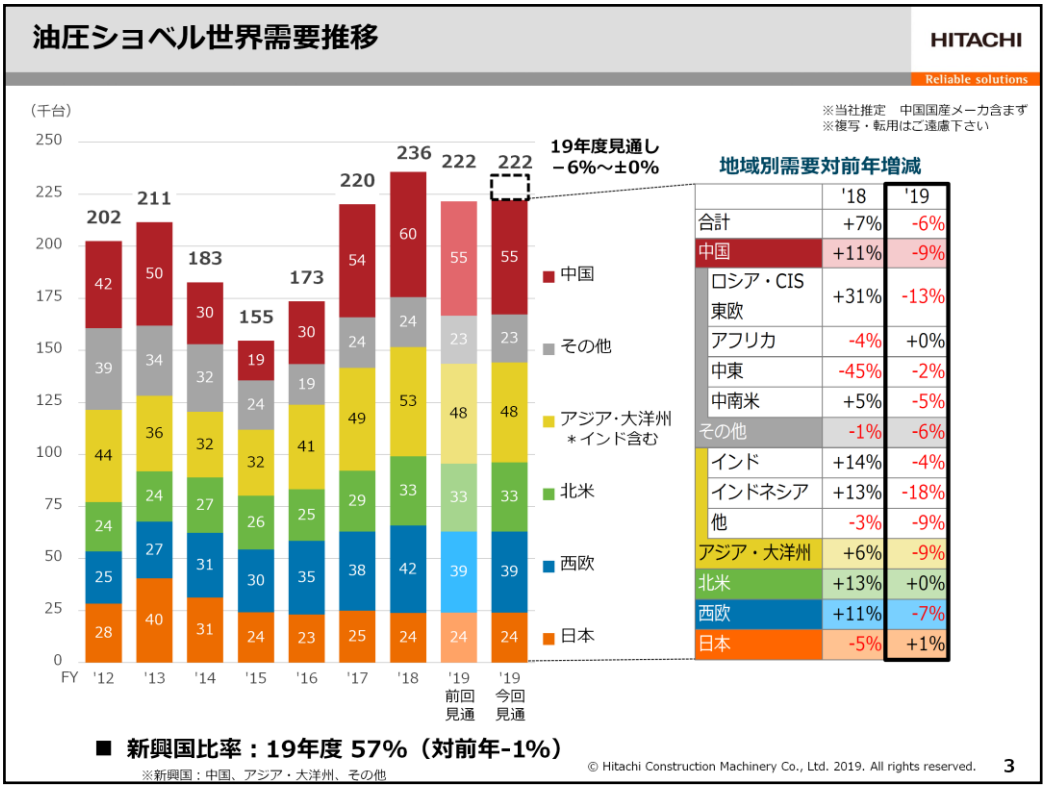
Reliable solutions

1.　地域別市場環境と見通しについて

執行役　営業本部長

先崎　正文

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

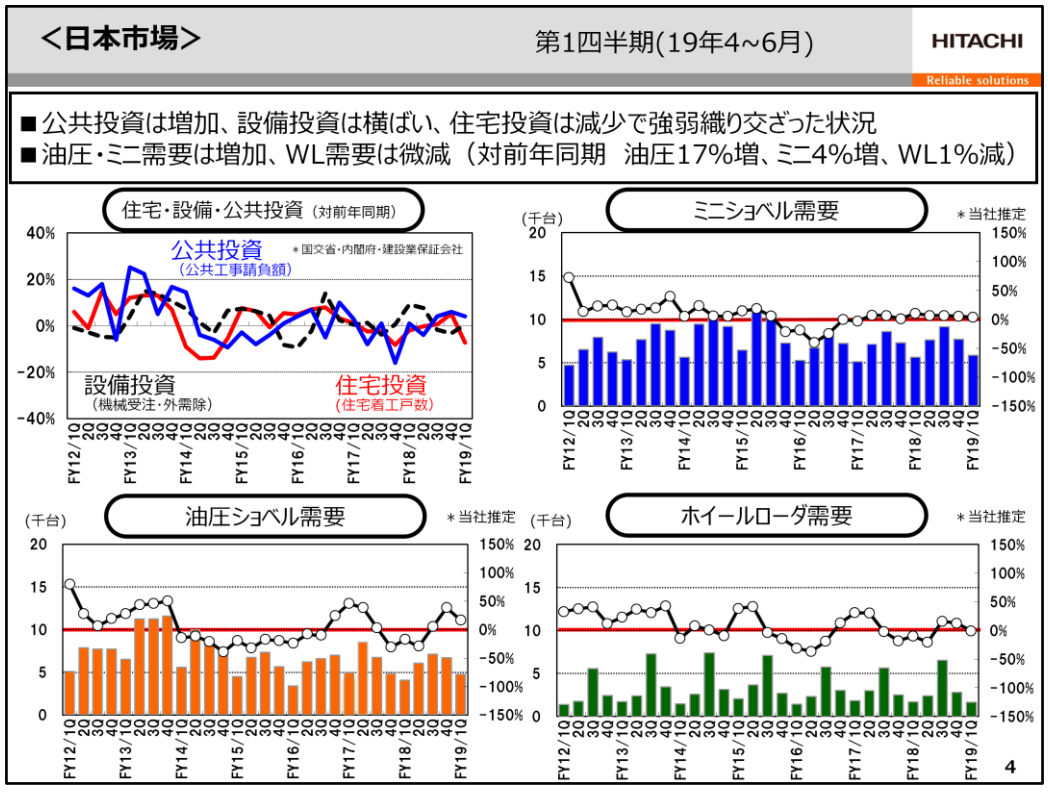


2019年度の油圧ショベルの世界需要は、前回見通しの222，000台を据え置き

足元では一部で前年割れの結果となっている地域もあるが、想定を超えるマーケットの減速は見受けらない

- 地域別には、中国が9%減の55，000台、
- アジア大洋州は9%減の48，000台、
- 北米は前年度並みの33，000台、
- 西欧は7%減の39，000台、
- 日本は前年度と変わらず24，000台

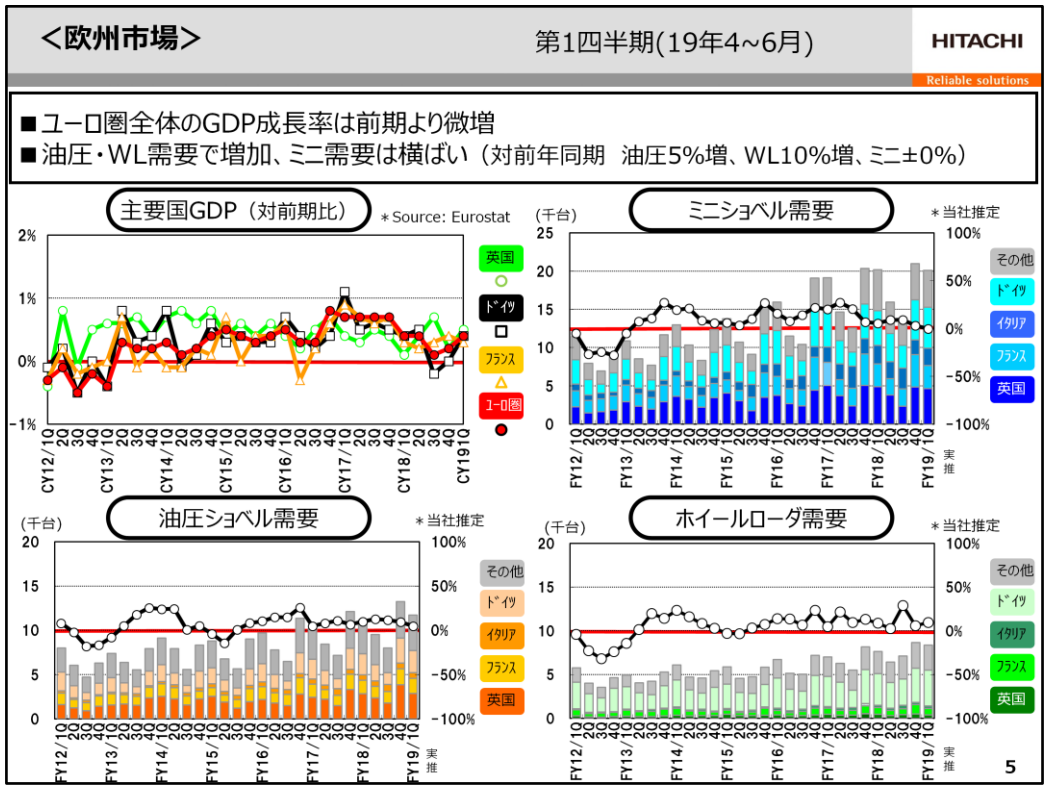
2018年度並みの需要上振れの可能性もある、と考えながら各施策を展開する



第1四半期の公共投資は、災害復旧工事の影響などにより対前年で増加したが、設備投資は横ばい、住宅投資は減少となり、強弱織り交ざった状況

油圧ショベルは、都市部の工事が堅調なことに加え、西日本豪雨災害や昨年の台風の被害などを受けた復旧工事のための需要が増加し、対前年同期17%増

ミニショベル需要は対前年同期4%増、ホイールローダ需要は対前年同期1%減

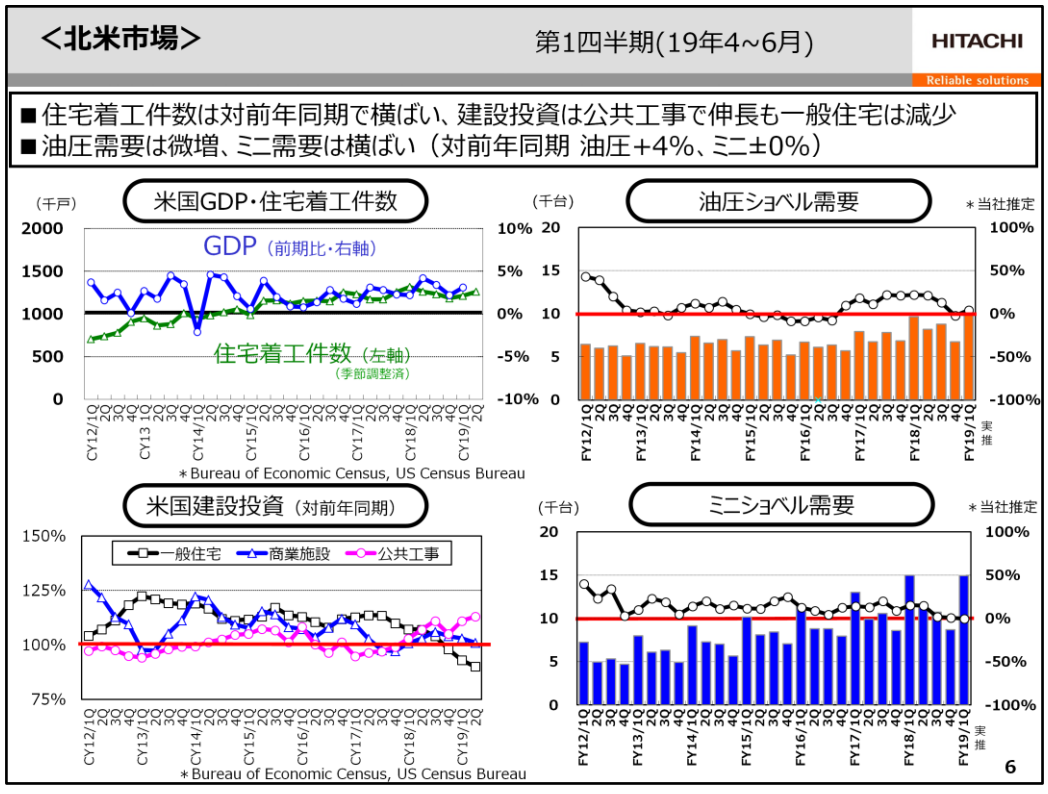


2019年第1四半期（CY）のユーロ圏全体のGDPは微増

油圧ショベルの需要は、堅調な住宅および商業施設建設等に支えられ、
欧州全体で対前年同期5%増と引き続き増加

特にフランス、イタリアで高い伸びを示した

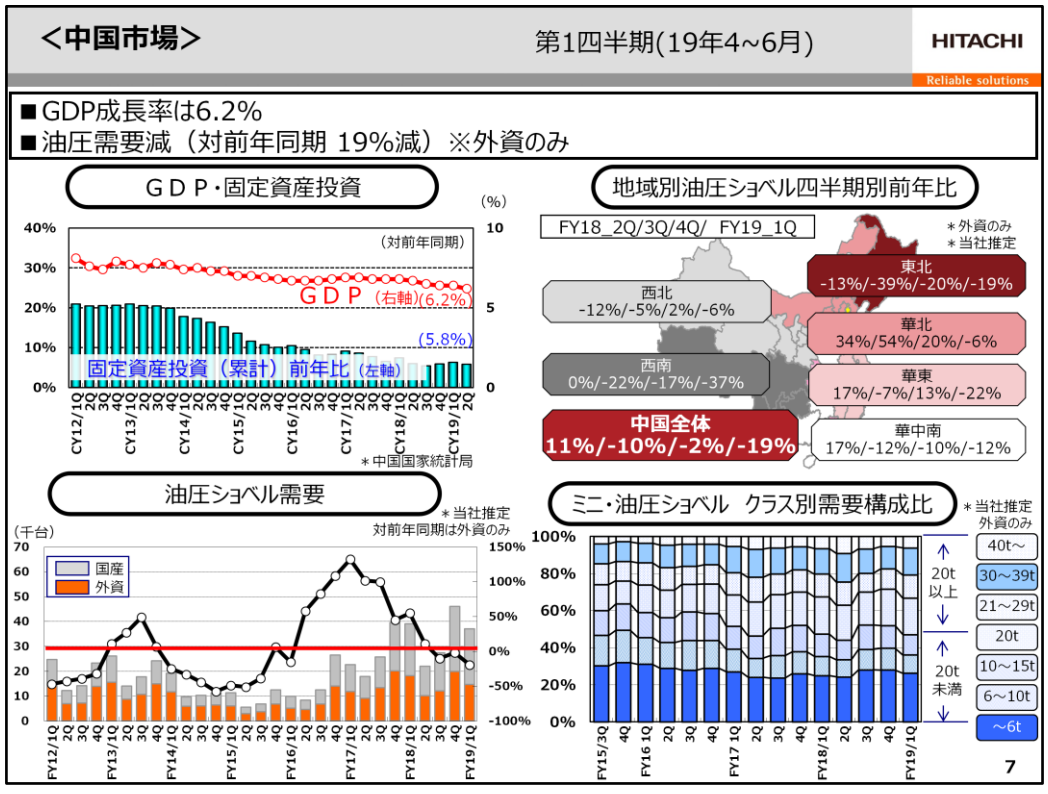
ミニショベルの需要は前年並み、ホイールローダの需要は対前年同期10%増



米国のGDPは、2019年第1四半期（CY）で3．1%、住宅着工件数については対前年同期で横ばい

米国の建設投資は、公共工事で増加している一方、一般住宅が減少
一般住宅は、昨年同時期をピークに減少が続いており、その動向を注視

油圧ショベルの需要は対前年同期4%増、ミニショベルの需要は横ばい



2019年第2四半期（CY）のGDP成長率は6.2%増、1月～6月の固定資産投資は5．8%増

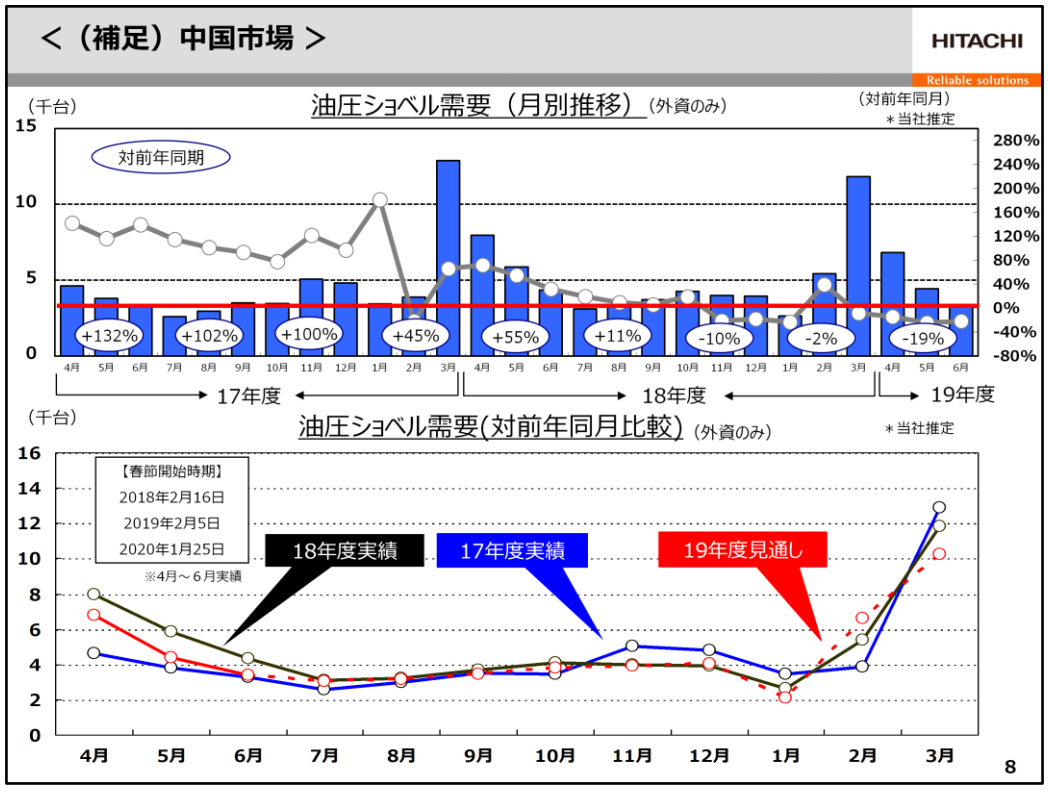
油圧ショベル需要は、国産機含めた全需要でも5月から減少に転じており、外資のみの需要では、第1四半期は対前年同期19%減

地域別油圧ショベル需要でみると、需要構成比率の最も高い華東では22%減、次に需要構成比率の高い華中南で12%減、西南で37%の減少

西南地区においては、政府の大規模農村開発プロジェクトによる需要増からの反動があり、減少幅が大きい

クラス別需要構成比については、20トン以上がやや増加

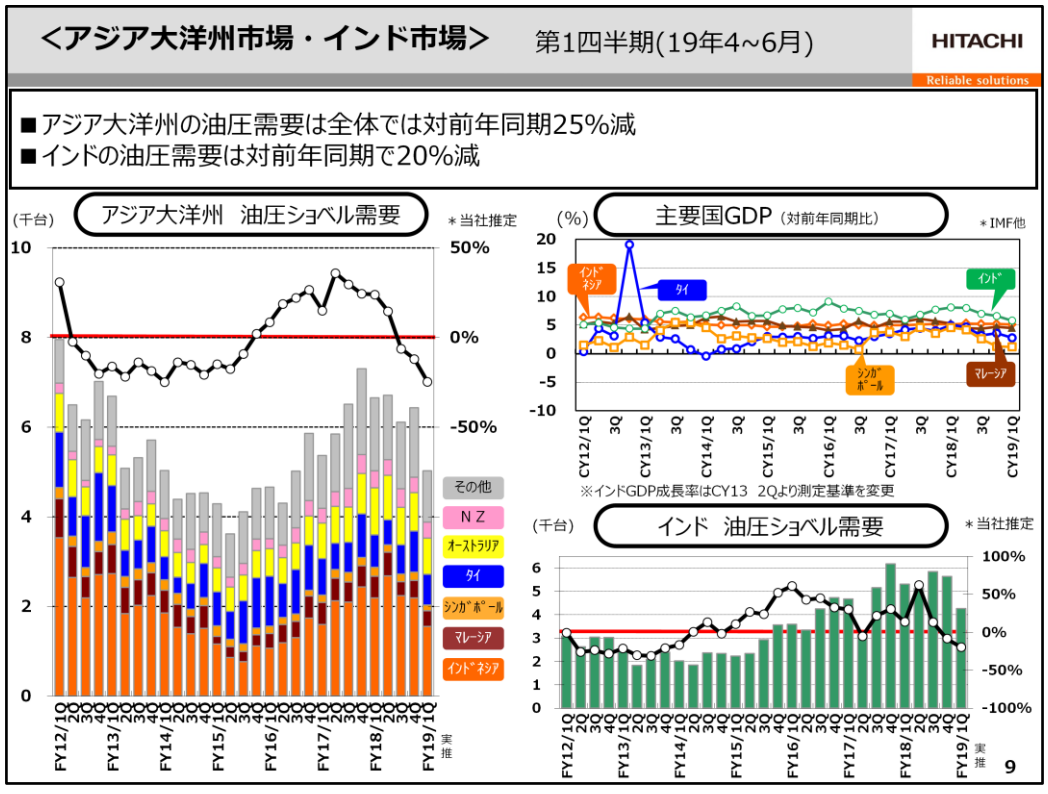
鉱山や砕石現場で生産性や安全性を重視し、機械の大型化の傾向が見られる



外資のみの月別油圧ショベル需要推移は、春節明けの需要が伸びた2月を除き、昨年11月から前年割れの傾向が続いている

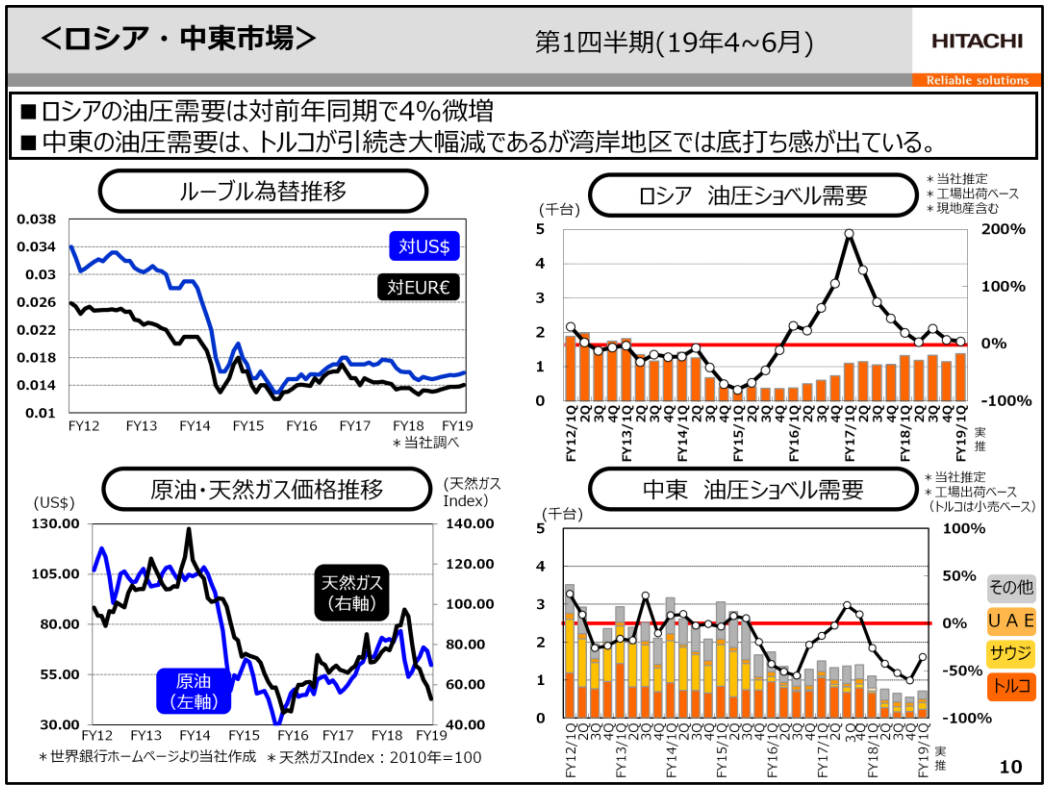
月別需要推移を昨年と重ねて比較すると、7月以降は、昨年の需要よりは若干下回ると見通しており、通年で対前年9%減の55,000と想定し、前回見通しを据え置いた

米中貿易摩擦激化に対応するべく、中央政府が景気刺激の為にインフラ投資を強化する事が期待されるが、投資実現及び建機需要へのプラス効果にはタイムラグがあり、需要に結びついてくる時期を注視する



アジア・大洋州油圧ショベル需要は、第１四半期において、選挙の影響のあったインドネシアや、マレーシア・オーストラリアなどで減少、全体では対前年同期２５％減

インドの油圧ショベル需要は、選挙前後の一時的な影響により対前年同期で減少しているが、今後は新政府予算が成立し、需要が回復することを見込んでいる



ロシアの油圧ショベルの需要は、対前年同期4%増

中東の油圧ショベルの需要は、トルコリラ安の影響を受け、引き続き、前年割れの状況が継続しているが、湾岸地区では底打ち感が出ている

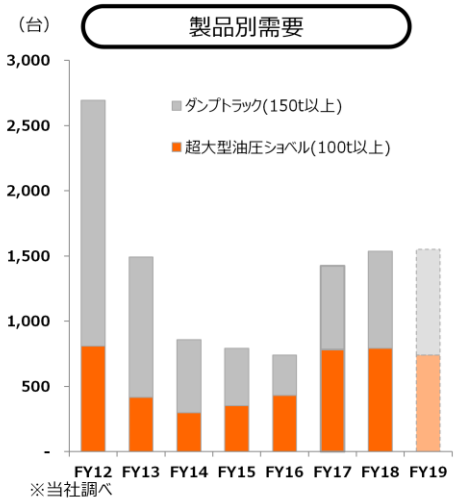
<マイニング機械>

19年度 (19年4月~20年3月)

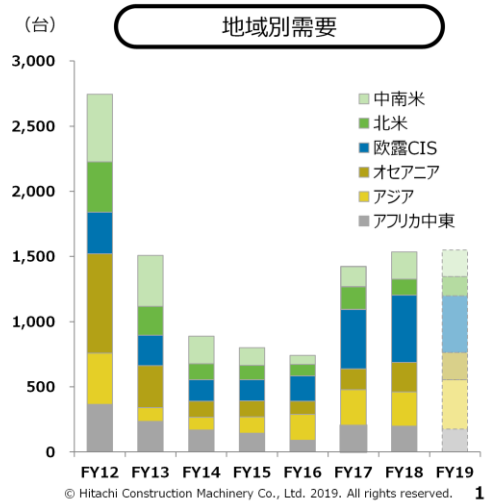
HITACHI
Reliable solutions

■19年度マイニング需要は大幅な増減なく、ほぼ横ばい
■クラス別では、中小規模鉱山・コントラクタ向け運転質量100-250tクラスの超大型油圧ショベルは減少、大手向け300t以上の超大型油圧ショベル及び積載質量150トン以上のダンプトラックの地合は強い

超大型油圧ショベル(100t以上) 、ダンプトラック(150t以上)



※当社調べ



© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved. 11

2019年度は、低品位の石炭価格は下落の見通しで、中小鉱山、或いは小規模コントラクターは投資を抑制

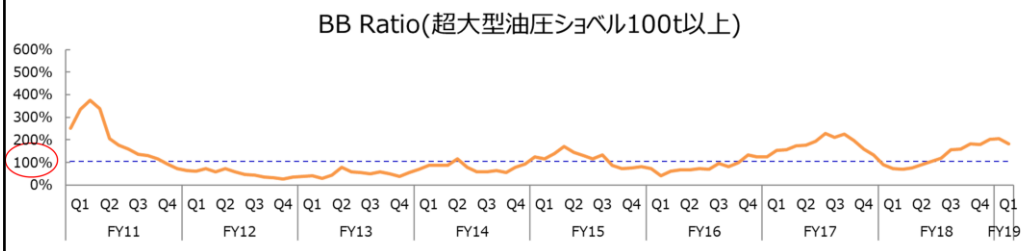
ショベルでは機械質量100トンから250トン級前後の中小クラスで需要減が生じるとみている

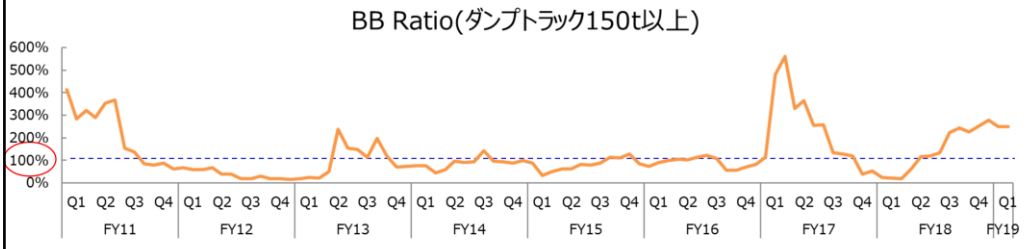
一方で高品位石炭、鉄鉱石、銅、は大手鉱山を中心に更新需要や生産拡大に伴う増車需要により、地合いは強く、高いレベルの需要を維持すると予測

全体では、19年度需要は対18年でほぼ横ばいと見通している

＜（補足）BB Ratio＞

HITACHI
Reliable solutions





※Book-to-Bill(BB)Ratio = Booking(受注額)/ Billing(出荷額)
当社単独の受注・出荷額の6ヶ月平均

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved. 12

超大型ショベル、ダンプトラックのBBレシオは、大手鉱山向け超大型機種を中心に受注が進んでおり、100%以上を維持

《トピック》中国において大型油圧ショベルを受注

HITACHI
Reliable solutions

12 つくる責任 つかう責任

重掘削仕様の大型油圧ショベル 21台を受注

日立建機（上海）有限公司が中国レンタル市場向け建設機械をカナモト中国殿より大口受注。

今回の受注を契機に、中国市場におけるバリューチェーン事業を拡大・強化。

大型油圧ショベルの出荷式典（7月9日）

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved. 13

この度、中国レンタル市場向け機械として重掘削仕様の大型ショベルを株式会社カナモト殿より21台受注し、出荷式典を当社の中国工場で実施

今回の受注を契機に、中国市場におけるバリューチェーン事業を拡大・強化する

これまで当社が独自で運営してきた日立建機教習センタについて、アウトソーシンググループとの共同出資会社とし、アウトソーシンググループが強みをもつ人材活用ノウハウと、当社の提供するICT施工ソリューションを組み合わせ、起工測量から施工、検査、データ納品までのICT施工の全工程について学ぶことができる教習プログラムを提供する

これにより、ICT施工に取り組むお客さまの生産性向上を支援する

《補足》

HITACHI
Reliable solutions

日立建機グループでは、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち、10項目の重点目標を設定しています。
当資料内のトピックスはこの区分に該当するアイコンを表記し、紹介しています。

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

HITACHI

Reliable solutions

2.　2020年3月期第1四半期 決算について

執行役専務兼CFO

桂山　哲夫

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

連結決算の概要

HITACHI
Reliable solutions

■為替円高影響などにより、売上収益は対前年同期2%減収、調整後営業利益は17%減益

（単位：億円）

	19年度 1Q		18年度 1Q		対前年同期 増減率
売上収益		2,347		2,402	△2%
調整後営業利益 *1	(9.8%)	229	(11.5%)	276	△17%
営業利益	(10.1%)	237	(10.7%)	257	△8%
税引前四半期利益	(9.2%)	216	(10.4%)	250	△14%
親会社株主に帰属する四半期利益	(5.8%)	136	(6.5%)	157	△13%
ＥＢＩＴ *2	(9.7%)	228	(10.7%)	256	△11%
為替 アメリカドル		109.9		109.1	0.8
為替 ユーロ		123.5		130.1	△6.6
為替 中国元		16.1		17.1	△1.1
為替 オーストラリアドル		76.9		82.6	△5.7

*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。
*2 [EBIT]は、税引前当期利益から、受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。（EBIT=Earnings before interests and taxes）

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

売上収益は、対前年同期比2%減の2,347億円、調整後営業利益は、対前年同期比17%減の229億円でその利益率は9.8%、営業利益は237億円で利益率10.1%

親会社株主帰属の当期利益は、前年比13%減の136億円

当四半期の為替レートは対前年同期比では、米ドルは0.8円の円安、ユーロは6.6円の円高、元は1.1円の円高、オーストラリアドルも5.7円の円高

連結地域別売上収益

HITACHI
Reliable solutions

■北米、ロシアCIS、日本は対前年同期比増収なるも、他の各地域では対前年同期比減収

（単位：億円）

	19年度 1Q		18年度 1Q		対前年同期比	
					金額	増減率
日本	409	17%	395	16%	14	4%
アジア	167	7%	182	8%	△ 15	△8%
インド	134	6%	166	7%	△ 32	△19%
オセアニア	380	16%	420	17%	△ 40	△10%
欧州	282	12%	286	12%	△ 4	△1%
北米	471	20%	383	16%	88	23%
中南米	38	2%	48	2%	△ 10	△21%
ロシアCIS	101	4%	62	3%	39	62%
中東	17	1%	44	2%	△ 27	△61%
アフリカ	83	4%	94	4%	△ 11	△12%
中国	265	11%	322	13%	△ 57	△18%
合計	2,347	100%	2,402	100%	△ 55	△2%
海外売上収益比率	83%		84%			

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

北米は471億円で、対前年同期比88億円・23%増加、ロシアCISも対前年同期比39億円・62%増加、日本も14億円・4%増加だったが、そのほかの各地域では対前年同期比で減収

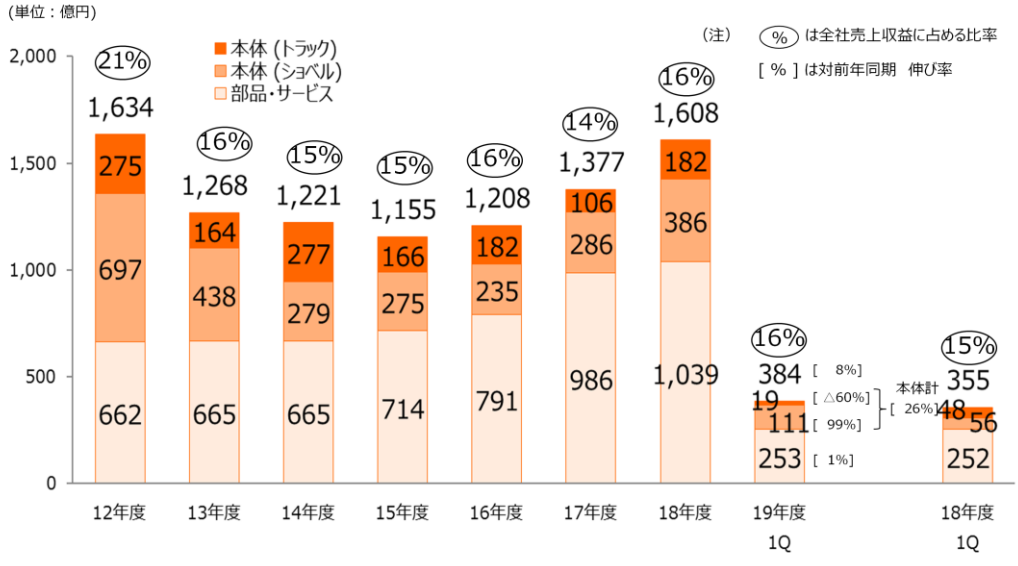
この結果、海外売上収益比率は、前年同期比1ポイント減の83%

なお、対前年同期比で売上収益は55億円減少した2,347億円だったが、為替円高影響が75億円の減収要因につき、物量の増加は20億円

マイニング売上収益推移

HITACHI
Reliable solutions

■当第１四半期のマイニング売上収益は、対前年同期比８％増の384億円
■特に本体売上収益は、対前年同期比26%の増加



© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

19年度第１四半期のマイニング売上収益は、384億円と、対前年同期比8%の増加

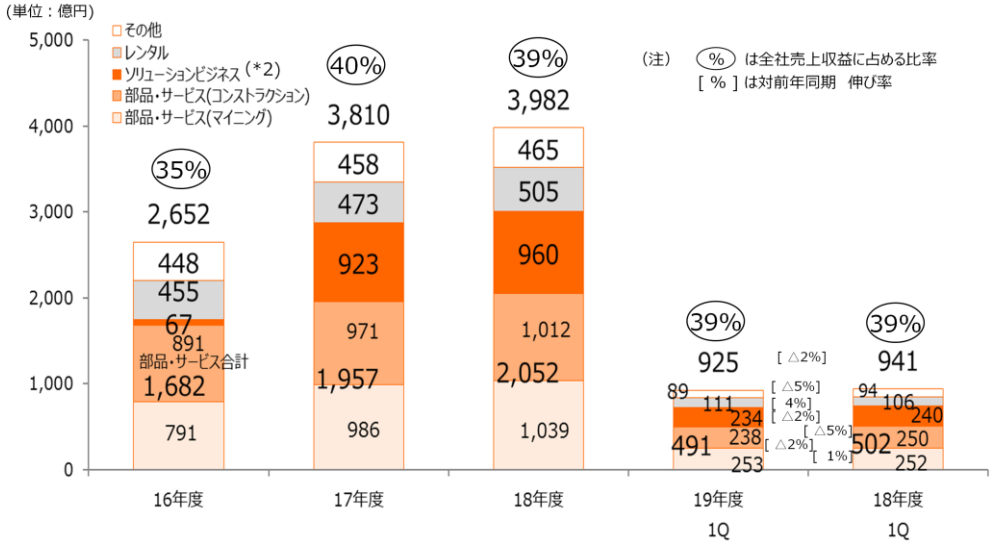
特に、本体売上は26%の増加、ショベル本体売上は対前年同期比99%の大幅増加

マイニング向け部品サービスも為替円高影響はあったが、対前年比1%増と堅調

バリューチェーン(*1) 売上収益推移

HITACHI
Reliable solutions

■当第1四半期のバリューチェーン売上収益は、為替円高影響（△35億円）により対前年同期比で16億の減収なるも為替影響を除けば19億円増収



(＊1) バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、ソリューションビジネス、レンタル等の事業合計
(＊2) ソリューションビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供

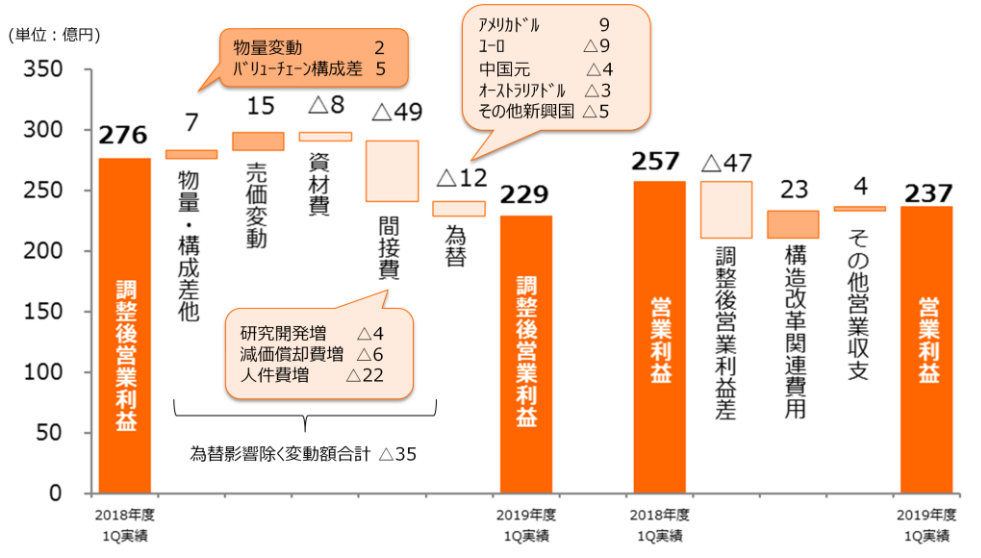
© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

バリューチェーン売上は、対前年度期比2%減・16億円減収の925億円が、為替円高影響がマイナス4%、35億円の減収要因なので、実質2%、19億円の増加

連結損益変動要因

HITACHI
Reliable solutions

■調整後営業利益は、物量・構成差や売価の改善はあるも、為替円高影響と間接費の増加などにより47億円の減益



© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

調整後営業利益は、物量の増加やバリューチェーン構成差、さらに欧州やインドなどでの売価の改善はあったが、従業員の処遇改善などの間接費増加、および為替円高影響により、前年同期よりも47億減少した229億円

その他営業収支では、構造改革関連費用の減少・改善もあったが、営業利益は、前年同期よりも20億円減少の237億円

要約連結損益計算書

HITACHI
Reliable solutions

■営業利益は237億円と対前年同期比△20億円(8%)の減益
■親会社株主に帰属する四半期利益も136億円と対前年同期比△21億円(13%)の減益

（単位：億円）

	19年度 1Q		18年度 1Q		対前年同期比 金額	対前年同期比 増減率
売上収益		2,347		2,402	△55	△2%
売上原価	(71.5%)	1,678	(70.8%)	1,700	△22	△1%
販売費・管理費	(18.8%)	440	(17.7%)	426	14	3%
調整後営業利益 *1	(9.8%)	229	(11.5%)	276	△47	△17%
その他の収益及び費用		8		△19	26	-
営業利益	(10.1%)	237	(10.7%)	257	△20	△8%
金融収益及び費用		△28		△10	△17	165%
持分法投資損益		7		4	4	104%
税引前四半期利益	(9.2%)	216	(10.4%)	250	△34	△14%
法人所得税費用		61		67	△6	△10%
四半期利益	(6.6%)	155	(7.6%)	183	△28	△15%
親会社株主に帰属する四半期利益	(5.8%)	136	(6.5%)	157	△21	△13%
四半期包括利益合計額		37		144	△ 108	△74%

*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

金融収益・費用は、主として為替円高影響による為替差損などや、有利子負債増加による支払利息増加により、前年同期比17億円減少したマイナス28億円

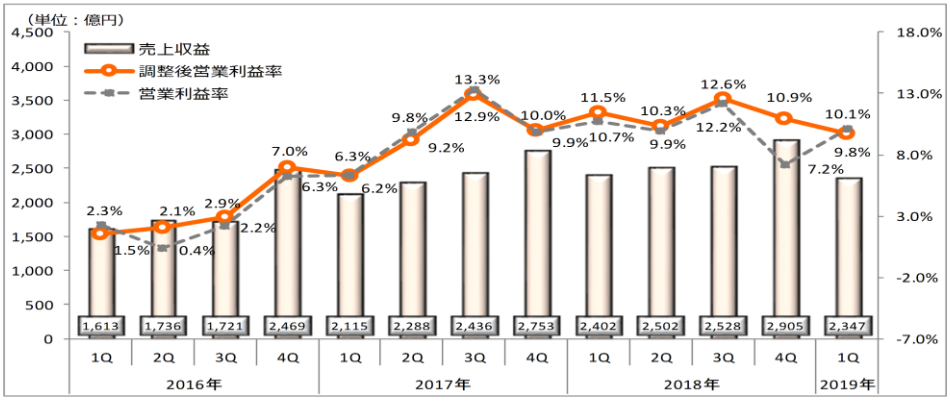
しかし、対前年同期比で、持分法投資損益の増加や法人所得税費用の減少などにより、親会社株主帰属の当期利益は、前年同期比マイナス21億円の136億円

要約連結 四半期別売上収益・営業利益（率）

HITACHI
Reliable solutions

（単位:億円）

	2016年				2017年				2018年				2019年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	1,613	1,736	1,721	2,469	2,115	2,288	2,436	2,753	2,402	2,502	2,528	2,905	2,347
調整後営業利益	24	36	50	173	132	210	315	275	276	258	318	317	229
営業利益	37	7	38	155	134	225	324	271	257	248	308	210	237



四半期別 為替レート	2016年				2017年				2018年				2019年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
アメリカドル	108.1	102.4	109.3	113.6	111.1	111.0	113.0	108.3	109.1	111.5	112.9	110.2	109.9
ユーロ	122.0	114.3	117.8	121.1	122.2	130.4	133.0	133.2	130.1	129.6	128.8	125.2	123.5
中国元	16.5	15.4	16.0	16.6	16.2	16.6	17.1	17.1	17.1	16.4	16.3	16.3	16.1
オーストラリアドル	80.6	77.6	81.9	86.2	83.4	87.6	86.8	85.3	82.6	81.5	81.1	78.5	76.9

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

調整後営業利益率は9.8%となり、営業利益率は10.1%

為替レートは、円高傾向にある

要約連結財政状態計算書

HITACHI
Reliable solutions

■国際会計基準（IFRS）16号の適用開始により、前年度末よりも約400億円のリース資産の増加影響あるも、現預金と売掛債権の圧縮により、総資産は前年度末よりも239億円の増加

（単位：億円）

	(A) 19年1Q	(B) 18年度末	(C) 18年1Q	(A)-(B) 増減
現金及び現金同等物	565	673	811	△109
営業債権	2,216	2,382	2,048	△166
棚卸資産	3,375	3,248	2,819	127
流動資産合計	6,614	6,739	6,160	△125
非流動資産合計	5,478	5,114	4,864	364
資産の部合計	12,092	11,853	11,024	239
非流動を含めた営業債権	2,668	2,826	2,460	△158
棚卸資産　内訳				
本体	958	893	672	64
部品	1,045	1,022	964	23
その他	1,373	1,333	1,184	40
棚卸資産計	3,375	3,248	2,819	127
手持日数（分母は売上収益）				（単位：日）
営業債権（非流動含む）	95	100	91	△5
棚卸資産	120	115	104	5
営業債務	52	57	62	△5
正味運転資金	160	155	130	5

	(D) 19年1Q	(E) 18年度末	(F) 18年1Q	(D)-(E) 増減
営業債務及びその他債務合計	2,245	2,758	2,631	△513
社債及び借入金	3,333	3,048	2,744	285
負債の部合計	6,781	6,426	5,934	355
（親会社株主持分比率）	(39.3%)	(41.0%)	(40.9%)	(△1.7%)
資本の部合計	5,311	5,427	5,090	△115
負債・資本の部合計	12,092	11,853	11,024	239
（有利子負債比率）	(27.6%)	(25.7%)	(24.9%)	(1.8%)
有利子負債計	3,333	3,048	2,744	285
現金及び現金同等物	565	673	811	△109
（ネット有利子負債比率）	(22.9%)	(20.0%)	(17.5%)	(2.9%)
ネット有利子負債	2,768	2,375	1,933	394
ネットD/Eレシオ	0.58	0.49	0.43	0.09

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

19年6月末は、国際会計基準（IFRS）16号適用により、前年度末よりも約400億円のリース資産の増加影響はあるが、総資産は前年度末よりも239億円の増加に留まり、12,092億円

即ち、現預金で109億円の効率化を図り、非流動を含めた営業債権でも、前年度末より158億円圧縮した2,668億円

棚卸資産は、127億円増加の3,375億円

手持日数は、営業債権は前年度末より5日短縮の成果だったが、棚卸資産は5日延伸の120日となり、この結果、正味運転資金手持日数は前年度末よりも5日延伸した160日となった

この影響で有利子負債は前年度末よりも285億円増加し、資本合計も主として為替円高影響による在外活動営業体の換算差額の悪化で115億円の減少

この結果、親会社株主帰属持分比率は39.3%、ネットDEレシオは0.58となった

連結キャッシュ・フロー

HITACHI
Reliable solutions

■営業CFは△163億円の支出超過なるも、前年同期比では105億円の改善

（単位：億円）

	19年度 1Q		18年度 1Q		対前年同期比 増減額	
四半期利益		155		183		△ 28
減価償却費	262	107	272	89	△ 10	18
売掛金及び受取手形の増減		64		127		△ 63
棚卸資産の増減	△ 227	△ 209	△ 302	△ 280	75	71
買掛金及び支払手形の増減		△ 83		△ 150		67
その他		△ 199		△ 238		39
営業活動に関するキャッシュ・フロー		△ 163		△ 268		105
営業キャッシュ・フローマージン率		△7.0%		△11.2%		4.2%
投資活動に関するキャッシュ・フロー		△ 110		△ 48		△ 62
フリー・キャッシュ・フロー		△ 273		△ 316		43
財務活動に関するキャッシュ・フロー		180		317		△ 137

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

営業キャッシュフローは、163億円の支出超過だが、前年同期比では105億円の改善となった

しかし、投資キャッシュフローの支出増加もあり、フリーキャッシュフローは273億円の支出超過

要約連結損益計算書（予想）

HITACHI
Reliable solutions

■19年度連結業績予想は、先行きの経済状況や為替動向を鑑み、前回予想を据え置く

(単位：億円)

	19年度 予想	18年度 実績	対前年同期比 金額	対前年同期比 増減率
売上収益	9,500	10,337	△ 837	△ 8%
調整後営業利益	(9.1%) 860	(11.3%) 1,168	(△2.3%) △ 308	△ 26%
営業利益	(8.6%) 820	(9.9%) 1,023	(△1.3%) △ 203	△ 20%
税引前当期利益	(8.4%) 800	(9.9%) 1,027	(△1.5%) △ 227	△ 22%
親会社株主に帰属する当期利益	(5.1%) 480	(6.6%) 685	(△1.6%) △ 205	△ 30%
EBIT	835	1,056	△ 221	

通貨	1Q 実績	2Q-4Q 予想	年度 予想	18年度 実績	対前年同期比
アメリカドル	109.9	100.0	102.2	111.0	△ 8.8
ユーロ	123.5	110.0	113.3	127.9	△ 14.6
中国元	16.1	15.0	15.3	16.6	△ 1.3
オーストラリアドル	76.9	77.0	77.0	80.9	△ 4.0
１株当たり配当金 *1	未定			100円	-

為替感応度は参考資料1をご参照ください

*1 [1株当り配当金]は、連結業績に連動した剰余金の配当を原則として、中間と期末の２回に分けて同一年度に２度実施する方針であり、連結配当性向30%程度、もしくはそれ以上をめざします。

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

19年度需要環境、並びに世界の先行きの経済状況や為替動向を鑑み、現時点の今年度業績予想は、要約連結損益計算書（予想）の通りに、4月公表値の売上収益9,500億円、調整後営業利益860億円、親会社株主に帰属する当期利益の480億円を据え置く

なお、第2四半期以降の予想為替レートも据え置いたが、参考資料1．として、第2四半期以降に売上収益と調整後営業利益に影響する為替感応度を掲載

連結地域別売上収益（予想）

HITACHI
Reliable solutions

■19年度連結売上収益は、予想為替レートの円高影響△673億円により、対前年同期比837億円の減収を見込む

（単位：億円）

	19年度 予想		18年度 実績		対前年同期比	
					金額	増減率
日本	2,066	22%	2,061	20%	5	0%
アジア	878	9%	885	9%	△7	△1%
インド	656	7%	679	7%	△23	△3%
オセアニア	1,483	16%	1,639	16%	△156	△10%
欧州	898	9%	1,116	11%	△218	△20%
北米	1,650	17%	1,687	16%	△36	△2%
中南米	141	1%	171	2%	△30	△18%
ロシアCIS	347	4%	344	3%	3	1%
中東	125	1%	118	1%	7	6%
アフリカ	314	3%	438	4%	△124	△28%
中国	942	10%	1,199	12%	△257	△21%
合計	9,500	100%	10,337	100%	△837	△8%
海外売上収益比率	78%		80%			

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

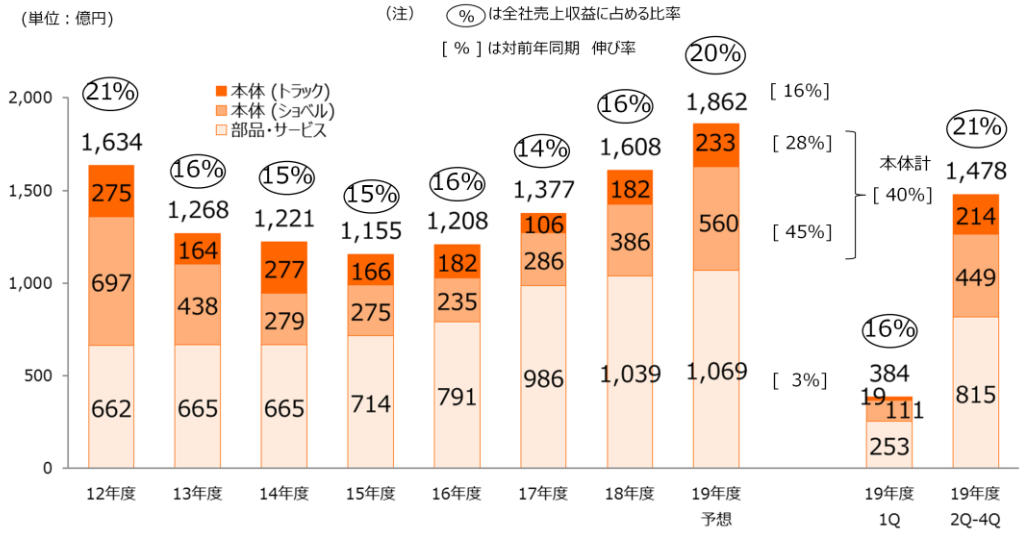
19年度売上収益は、為替円高影響マイナス673億円を含めて、対前年同期比837億円、8%の減収の9,500億円の見通し

欧州、アフリカ、中国は、為替円高影響を含めて、20%以上の減収を予想している

マイニング売上収益推移（予想）

HITACHI
Reliable solutions

■19年度のマイニング売上収益は、予想為替レートの円高影響あるも、対前年同期比16%増収の1,862億円を見込む



© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

19年度のマイニング売上収益予想は、対前年比16%増加と、予想為替レートの円高影響で10%の減収要因を含めても、1,862億円と増収の予想

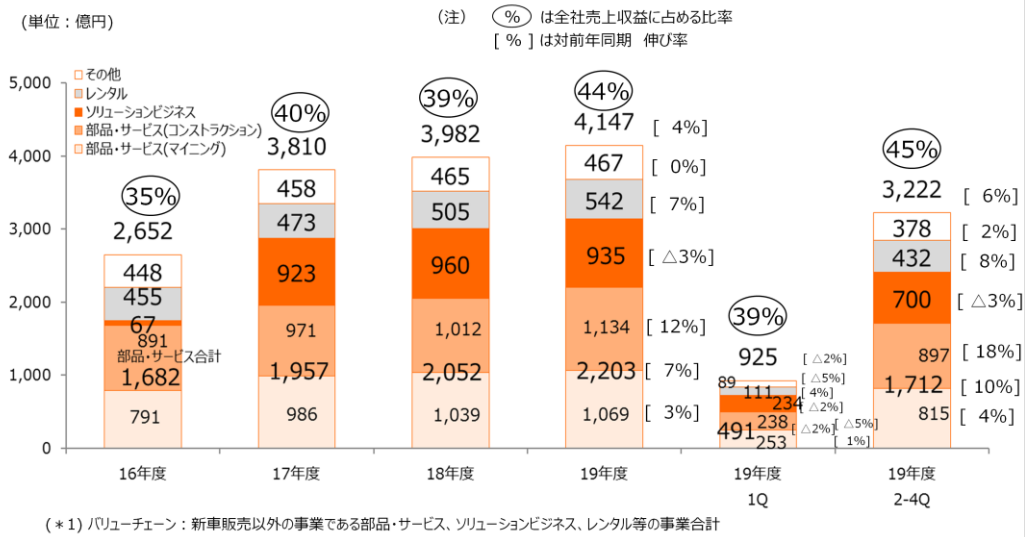
マイニング機械本体はトラックとショベル合計で、予想為替の円高影響マイナス11%を含めても対前年同期比40%増加と好調で、マイニング向け部品サービスも予想為替レートの円高影響マイナス9%を含めても対前年同期比3%増加の予想

なお、参考資料2. として地域別のマイニング売上収益内訳を掲載

バリューチェーン(*1) 売上収益推移（予想）

HITACHI
Reliable solutions

■19年度売上収益は、予想為替レートの円高影響あるも、部品サービス、レンタルの売上増により、合計では対前年度比4%増を見込む



(＊1) バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、ソリューションビジネス、レンタル等の事業合計
(＊2) ソリューションビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

19年度のバリューチェーン売上収益予想は、対前年同期比4%増加の4,147億円と、予想為替レートの円高影響マイナス6%を含めても、増収の予想

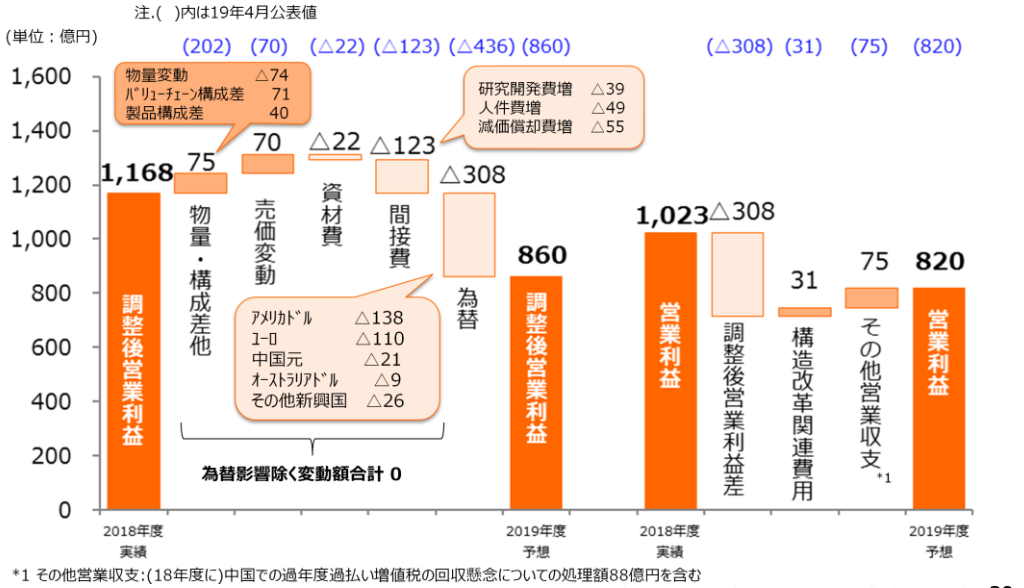
部品サービスは予想為替の円高影響マイナス8%を含めても7%の増収の2,203億円、ソリューションビジネスは3%減収の935億円が、予想為替の円高影響マイナス6%によるもので実質は増加。レンタルも7%増加の542億円を見込む

売上構成比は、前年同期比5ポイント増加の44%を見込んでいる

連結損益変動要因（予想）

HITACHI
Reliable solutions

■19年度調整後営業利益は、予想為替レートの円高影響△308億円を除けば、ほぼ前年並みを見込む



*1 その他営業収支:(18年度に)中国での過年度過払い増値税の回収懸念についての処理額88億円を含む

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

バリューチェーン構成差やその他の構成差、並びに売価の改善で、物量減や資材費のアップ、間接費の増加は補うものの、為替の円高想定による調整後営業利益減少分は賄いきれず、19年度調整後営業利益は308億円減少の860億円の予想

営業利益は、構造改革関連費用を含めたその他の営業収益・費用の改善で、203億円を減じた820億円の予想

＜参考資料 1＞ 為替レート及び為替感応度

HITACHI
Reliable solutions

■19年度予想為替レートは、先行きが不透明な世界経済等を踏まえて、通貨毎に予想変動レンジの下限をもって設定した

為替レート及び為替感応度

(単位：億円)

通貨	為替レート				感応度(2Q-4Q累)		
	19年度			18年度実績	基 準	売上収益	調整後営業利益
	1Q実績	2Q-4Q予想	年度予想				
アメリカドル	109.9	100.0	102.2	111.0	1円円安になった場合	18	13
ユーロ	123.5	110.0	113.3	127.9	1円円安になった場合	5	6
中国元	16.1	15.0	15.3	16.6	0.1円円安になった場合	4	1
オーストラリアドル	76.9	77.0	77.0	80.9	1円円安になった場合	16	2

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

＜参考資料 2＞ マイニング売上収益内訳

HITACHI
Reliable solutions

(単位：億円)

		18年度実績			19年度予想			差額		
		1Q	2-4Q累	年度	1Q	2-4Q累	年度	1Q	2-4Q累	年度
米州	ショベル	27	119	146	34	130	164	8	11	19
	トラック	17	53	70	13	44	57	△ 4	△ 9	△ 13
	計	44	172	216	47	174	221	4	2	5
欧阿中東	ショベル	66	181	248	58	224	282	△ 8	43	35
	トラック	29	141	170	30	155	186	1	14	15
	計	95	322	418	88	380	468	△ 7	57	50
アジア・大洋州	ショベル	118	520	638	180	647	827	62	127	189
	トラック	96	219	315	60	265	325	△ 36	46	10
	計	214	739	953	240	912	1,152	26	173	199
中国	ショベル	1	8	10	2	8	10	1	△ 0	1
	トラック	0	1	1	0	1	1	0	△ 0	△ 0
	計	2	9	11	2	9	11	1	△ 0	0
日本	ショベル	1	9	10	6	3	9	5	△ 6	△ 1
	トラック	0	0	0	0	0	0	△ 0	△ 0	△ 0
	計	1	9	10	6	3	9	5	△ 6	△ 1
合計	ショベル	213	837	1,051	280	1,012	1,293	67	175	242
	トラック	142	415	557	103	466	569	△ 38	51	12
	計	355	1,252	1,608	384	1,478	1,862	28	226	254

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

<参考資料 3> セグメント情報

HITACHI
Reliable solutions

■下記ソリューションビジネスの調整後営業利益にはＰＰＡ(資産再評価)償却費が含まれております。
19年度第1四半期実績3億円、19年度累計予想は14億円が含まれております。

（単位：億円）

19年度 1Q	報告セグメント				調整額 *1	連結財務諸表 計上額	
	建設機械 ビジネス		ソリューション ビジネス				
売上収益		2,113		240	△ 6		2,347
調整後営業利益 （PPA差引後）	9.8%	207	9.0%	22	-	9.8%	229

（単位：億円）

19年度 予想	報告セグメント				調整額 *1	連結財務諸表 計上額	
	建設機械 ビジネス		ソリューション ビジネス				
売上収益		8,565		935	0		9,500
調整後営業利益 （PPA差引後）	9.0%	768	9.9%	92	-	9.1%	860

*1 [調整額]は、セグメント間取引消去額、及び事業セグメントに帰属しない全社に係る金額です。

© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

HITACHI

Reliable solutions

【見通しに関する注記事項】
本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあり得ます。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

END

お問い合わせ

日立建機株式会社
ブランド・コミュニケーション本部

TEL ：03-5826-8152
FAX ：03-5826-8209